



経済産業大臣賞(1件)

経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

トムラ・ジャパン株式会社

取組の実践場所

日本国内（東京都、千葉県、埼玉県、栃木県、茨城県、群馬県、神奈川県等）

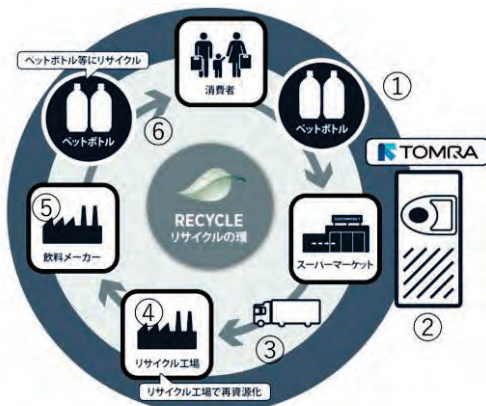
受賞テーマ

**飲料容器自動回収機（RVM）を用いたスーパー店頭におけるペットボトルの
効率回収と国内循環への貢献**

1. 取り組みの内容 :

同社（以下、トムラ・ジャパン）は、飲料容器自動回収機（RVM：Reverse Vending Machine、以下RVM）の製造・販売事業を展開しているノルウェーのトムラと、住友商事株式会社の合弁会社である。トムラ製のRVMを日本国内のスーパーの店頭で設置し、消費者からペットボトルを回収後、RVM内部で約1/8～1/3の大きさに破砕または圧縮して、効率的な輸送・再生が容易に行えるリサイクル事業を行っている。RVMは、単なる回収ボックスと異なり、その場で分別・破砕・圧縮まで行うので、回収の効率が良いことが大きな特徴である。

図1 トムラ・ジャパンのペットボトルリサイクルルート



- ①消費者が使用済ペットボトルをスーパーの店頭へ持参
- ②RVM（※）を利用しペットボトルのみを選択・減容
- ③スーパーマーケットからリサイクル工場へ輸送
- ④リサイクル工場にて再資源化
- ⑤再生樹脂需要家（飲料メーカー、繊維メーカー等）において再生樹脂を利用し製品化
- ⑥再び消費者のもとへ

※RVMは、2017年3月末現在、首都圏で約750台、日本全国で約1,100台が稼働中



2. 取り組みのポイント :

関係者がそれぞれの役割を果たす事でメリットを得られるようにして継続する仕組みを構築している。
（※樹脂需要家は飲料メーカーや繊維メーカー等）

関係者	役割	メリット
消費者	ラベル・キャップ除去、水でゆすぐ	nanaco等のポイント取得、便利に排出
小売店（スーパー）	回収袋交換、RVM 日常メンテナンス	リサイクルの見える化による消費者への訴求
ペットボトル再生事業者	安定した回収資源の引き取り	安定的な再生資源の調達
ペット樹脂需要家※	安定的な再生樹脂の利用	安定的な再生樹脂の調達
トムラ・ジャパン	メンテナンス、リサイクルルート構築	RVMの普及・拡大

3. ペットボトル資源取扱量の推移 :

トムラ・ジャパンは、RVMを利用して2016年は約9,300トン（約3億本（ペットボトル国内販売量の約1.5%））を回収。2008年7月の会社設立から累計約3.7万トンを回収し、2016年に累計10億本の回収を達成した。

4. 今後の予定 :

スーパーマーケットに加えコンビニエンスストア等の他業態への設置拡大も図り、効率的な資源回収インフラとしての定着を目指している。

図2 資源回収量推移

